



認定第4号 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について

内容 令和5年度一般会計歳入歳出決算を認定するもの



反対討論

放課後健全育成事業である児童クラブは、児童福祉法で位置付けられた遊び及び生活の場であり、本来の目的から外れた学習支援や習い事などを行うことに違和感がある。また、工事費等に対し負担割合を決めた補助金ではなく、執行に疑問が残る。

解放学級事業は、市が「差別を受けなければならない地域はどこにも存在しない」としながら地域を限定しており、全地域、全児童を対象とすべきである。

新統合病院整備関連事業は、そもそも統合に問題があり事業を進めるべきではなく、多くの市民の願いからも統合すべきでない。

新ごみ処理施設整備事業は、DBO方式による市職員のノウハウ消失や適切な評価に対する疑念、時代に合わせた柔軟な変更への対応等に懸念があることなどから、これら支出の決算について、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

賛成討論

放課後健全育成事業の民間放課後児童クラブ開設に関する補助金は、待機児童解消に向け、国の規定に基づき算出され、事業内容も趣旨を逸脱したものではない。

解放学級事業は、あらゆる差別の解消に向けた学習活動として継続した取組が必要。

新統合病院整備関連事業は、市民の命を将来にわたって守り抜くために必要。

新ごみ処理施設整備事業は、DBO方式によりコスト削減と財政負担の平準化が図れ、時代の状況等に合わせた事前の投資や準備ができる。また、市職員が常駐し、運転管理の確認を行うためノウハウ消失の懸念はないと考える。

財政状況の健全度を示す各比率は、いずれも早期健全化基準を下回っており、引き続き健全な財政運営が行われているため、賛成。

(創志会 幸田安司)

事務執行の適正な運用を求める決議を可決

12月定例会に提案された議案第97号は、議決を得ずに無効な契約が締結されたことにより追認議決を求めた事案であり、議会として、本件所管の市教育委員会だけでなく市執行機関全体に対し、再発防止と事務執行の適正な運用に努めるよう要請する「事務執行の適正な運用を求める決議」が議会運営委員会委員長より提出され、全会一致で可決されました。



事務執行の適正な運用を求める決議（概要）

議案第97号「教師用教科書及び指導書の取得について」（追認）は、教師用教科書及び指導書の取得に関する契約について議決を得ないまま無効な契約が締結されたことにより、追認議決を求めた極めて異例の事案で、契約の相手方に不安や混乱を与えるとともに、議決権を軽視し、市の事務執行に対する市民の信頼を大きく損なうものである。

これらのことから、本件所管の教育委員会に留まらず執行機関全体に対し猛省を促すものであり、今後再びこのような事態を起こさないため、法令遵守の徹底による事務手続きの着実な実施を図るとともに、職員の意識改革と組織全体として実効性のあるチェック体制を確立するなど、再発防止に万全を期し、さらなる事務執行の適正な運用に全力を挙げて早急に取り組むよう、強く求めるものである。

市のお金の使い方をCHECK!



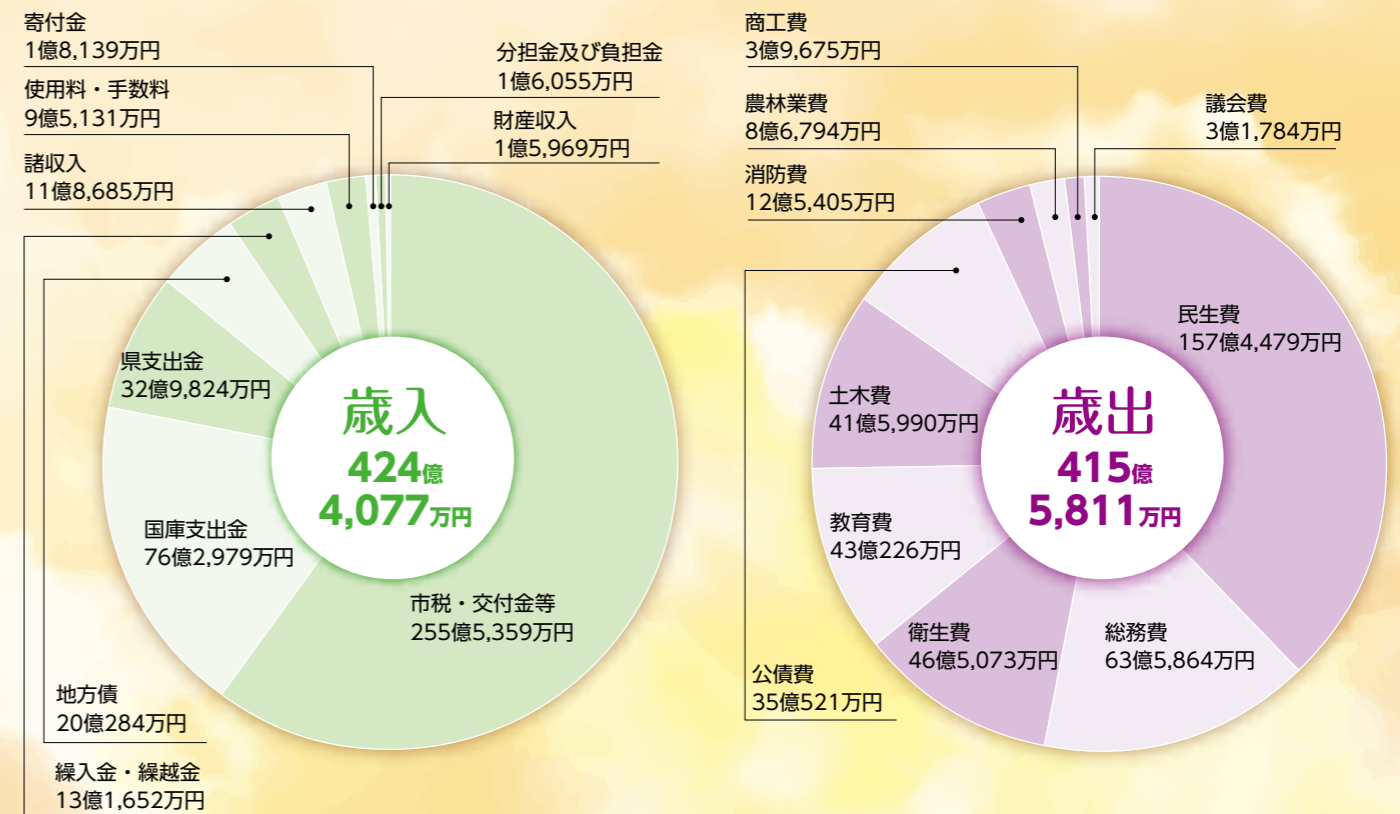
令和5年度 決算を審査しました

市の予算が適正に執行されたかどうか、また、各事業が適正かつ効果的に行われているかどうかを審査する予算決算常任委員会を、企業会計については8月21日・26日・27日、一般会計および特別会計については11月11日から15日に開催しました。

各分科会（経営政策・福祉教育・生活地域分科会）での個別審査および全体会での総括質疑を経て、討論・表決を行いました。

9月定例会において企業会計の決算が認定され、12月定例会において一般会計および特別会計の決算が認定されました。

一般会計の決算状況



特別会計の決算状況

	歳入	歳出
国民健康保険事業	105億8,923万円	105億8,215万円
公営墓地整備事業	2,323万円	2,323万円
駐車場事業	4,198万円	4,160万円
介護保険事業	82億9,825万円	80億8,500万円
後期高齢者医療事業	27億6,899万円	27億1,932万円

企業会計の決算状況

		収入	支出
市民病院事業	収益的	87億5,734万円	94億6,407万円
	資本的	11億1,332万円	16億3,435万円
水道事業	収益的	27億6,957万円	23億5,479万円
	資本的	1億3,910万円	10億8,312万円
下水道事業	収益的	28億7,611万円	26億8,310万円
	資本的	7億2,829万円	12億6,885万円